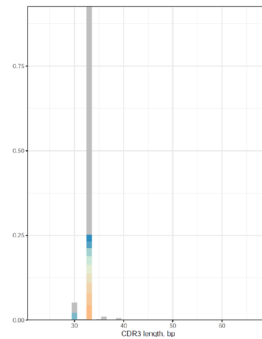


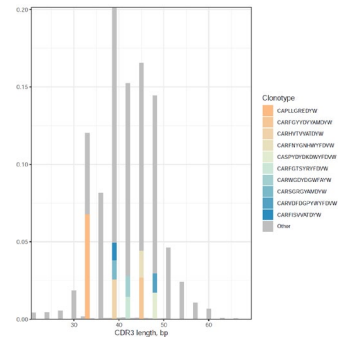
抗体作成の迅速化と簡略化技術

私たちは抗体の**重鎖(VH)**と**軽鎖(VL)**の可変領域を個別に発現させて動的に再結合する手法を開発しました。

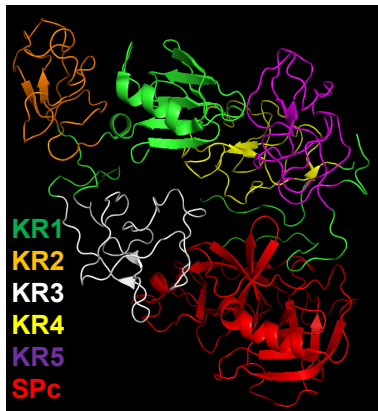
VHとVLを個別に解析し、離散数学処理を施すことで抗原に対する候補となる組み合わせを迅速に検討可能。



VL



VH



→ 90°



ヒトIgG

KR4を認識する完全抗体から**VH_{KR4}**と**VL_{KR4}**を分離発現
KR5を認識する完全抗体から**VH_{KR5}**と**VL_{KR5}**を分離発現
 各々の**VH**と**VL**を動的結合することでヒトIgGを検出することが出来るのみでなく、**VH_{KR5}**と**VL_{KR4}**で検出できた。

抗体の親和性向上の迅速省化
2価抗体の作成を戦略的に実施
キット化により抗体取得費用と納期を低減

お問合せ先

国立大学法人 浜松医科大学
産学連携・知財活用推進センター

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号
 TEL: 053-435-2230・2681 FAX: 053-435-2433
 e-mail: amanoy@hama-med.ac.jp itos@hama-med.ac.jp

